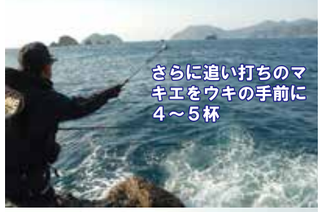
☆流れのある所では、後打ちマキエで先行する仕掛けと同調させる。タイミングを見てより効果的に投入する

▲道糸の出し加減をスプールに指を当て調節する。ハリスを張りツケエを先行させたり、仕掛けの角度調整なども大事



シンプルに重く…

強潮撃破でクロ頂きます！！

甑島 里

☆ビギナーにもオススメ、分りやすい半遊動

釣り始める前はまだ潮がどちらへ行っているのかあまり分らないし、クロのタナも分らない。野間さんが最初にＢを選んだのは様子見もあり、状況次第で２Ｂ～３Ｂなどと重くできるし、逆にＧ２～０などへと軽くできる最初の一手でもある。

半遊動では、例えばガン玉を打つことで、風などにより波立っている上潮を突破し、仕掛けをある程度強制的に入れられ、上潮に取られる道糸の抵抗も減らすことができる。今回は流れが強いため３Ｂのウキで張り気味にしてタナに入れ込んだ。

ウキに遊動幅を持たせる半遊動は、今釣っているタナが分るので、これから深くするのか浅くするのか、仕掛けを軽くするのか重くするのか次の手を判断しやすい。ビギナーは、まずエサが盗られたらタナを少し浅く、残って来るならタナを20～30cmなどと少しずつ深くすることをしながら、状況に応じてウキや仕掛けを変えるように考えて行くと分りやすいと思う。

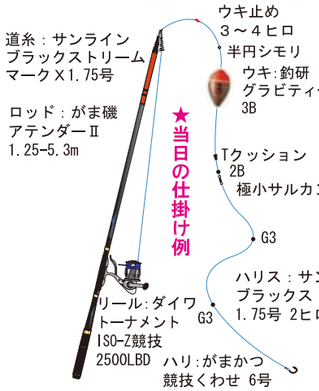
さらにステップアップして楽しむ

そして、例えば同じタナ（ウキ止めの位置）でもＢでは喰わず３Ｂで喰うといったこともある。その逆もあり、潮の流れにマッチしたウキ使い（仕掛けの重さ等）に慣れて行くといい。注意する点として、ガン玉により仕掛けが立ち気味となると喰いが悪くなることがあるので、斜めに流れるように道糸を張ってツケエを先行させるなどの道糸操作、また、ガン玉を分散させて打ち、潮受けを良くするなどのガン玉使いも考える。ウキ止めの位置も流れに応じて仕掛けの立ち具合や重さも考慮する。

また、ウキ止めを竿２本位とれば、そこまでは全遊動としても使え、タナが浅い時などはウキ止めをウキの下に移動すれば完全な全遊動ともなる。アタリがあってもクロがツケエを離すなど、ウキの抵抗やガン玉を嫌っているようなら、状況を見ながらウキの浮力を軽くしたり全遊動にしたり、ガン玉を軽くしたり外したりして、抵抗の掛からないようにするなど、色々な手を打てる。

野間さんのようにサルカンを入れていることで、ツケエを余り動かさずに仕掛けを張ることができ、張った分、ウキ止めまでのウキの遊動幅ができ、ウキがそのフリーの間に喰わせるなどといったこともできる。

そして、道糸の抵抗や仕掛けの角度、ツケエの有無など色々なことを感じてさらにステップアップしながら自由自在のアプローチを楽しんで行きたい！



■サンラインのハリス、ブラックストリームは潮によく馴染み、強靭で大型がアタってくる甑でも安心して使え、野間さんもオススメだ

■スプール・道糸は、オナガなど大型が来る場合や喰い渋りや風対策が必要な時などに備えて、太め・通常・細めと3種は用意したい

エサ盗りも居らず静かだった。たまに、少し沖で小魚の群れがバッと湧き上がったり何かいる様子だったが、すぐに静かになった。

潮は右流れでマキエ・仕掛けともＢ点方向に行ってしまう。ウキＢの仕掛けでは軽い感じだったので３Ｂと重くして、少し払い出しているサラシ付近を中心に止め釣りの格好とした。ウキ止めは４ヒロと深くした。

Ｂ点に入った日高さんの竿が曲がった。野間さんのマキエも流れ込み、潮表の絶好ポイントだ。良型を仕留めたが、後が続かない。

攻めあぐねていた野間さんだったが、サラシの下に潜る潮が出来、そこに仕掛けを入れ込んで行くとウキが引き込まれるアタリが出て、待望の１尾を手中にした。釣り始めて１時間程だった。

次にＣ点の森さんがヒット！大サラシを避けながらなんとか無事タモ入れ。そして野間さんようにクロ釣りを楽しんでいる。

午前７時頃の釣り始め、野間さんの釣り座は図のＡで、様子見で最初に選んだウキは釣研のグラビティのＢ。これにシモリとウキ止めを付け３ヒロほどのタナでスタート。ハリスは２ヒロほどで、ウキの遊動幅は１ヒロ位の半遊動仕掛けだ。

3Bでの止め釣りと上潮突破

Ａ点に入った野間さんだが、マキエを撒いても反応は無く、

☆配合エサはマルキユーの「Ｖ９」「アミパワーグレ」。クロの活性を上げ集魚効果も高く、喰いの渋い時季などにもオススメのブレンド

■潮通し良い犬島　主に南～西向きの釣り座で竿出し

３月３日、のっこみグロの大釣りも少し一段落し、水温低下や産卵による喰い渋りも予想されるのだが、甑のクロはまだまだ全然イケるし、美味しいクロを釣って食べたいねと里に釣行した。船中は、休日にしてはゆったりとしており、「喰い渋りなんぼのもんじゃ」？といった感じか、ロマン溢れる磯釣り大好き人間たちが見果てぬ夢を持って来られている様子で、本誌執筆の藤園さんたちの姿もあり、さすがによく釣られていた。

当日は仲間４人で一緒に竿出ししたいと蝶栄丸・石原船長に告げ、里一帯でも北側に位置する犬島に上礁させて頂いた。北側にあるハナレとの水道側は強風で道糸が張り根に絡み釣りが出来ず、じゃんけんをして主に南から西向きのポイントで２時間交替で釣り座を移動することにした。野間さんたちはいつもこんな感じで釣り座に不公平の無い

ハナレとの水道部は厳しかった

西向きの釣り座は潮通し良いが
Ｃはサラシがきつかった